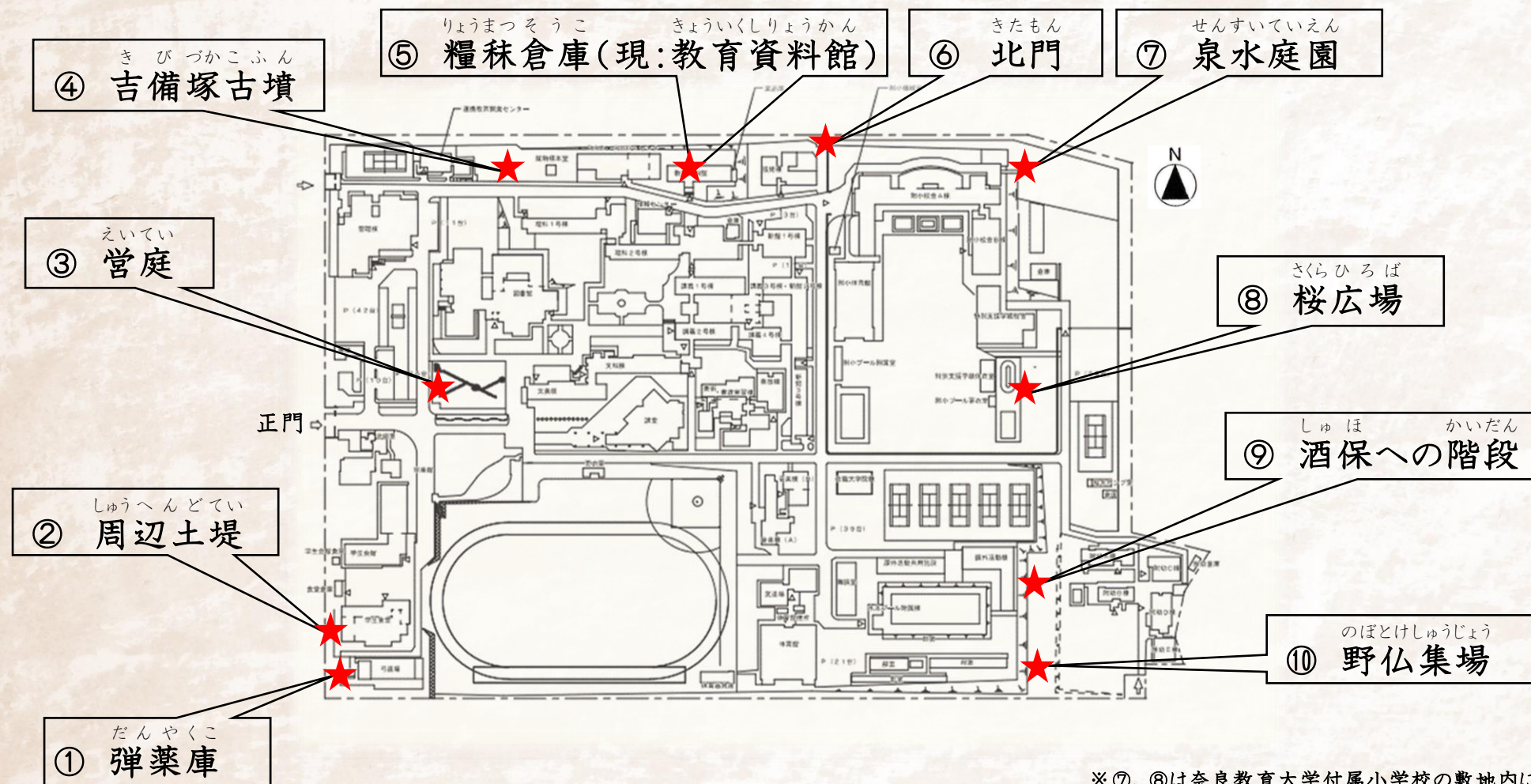


# ～奈良教育大学 戦争遺構マップ～

奈良教育大学戦争遺構保存会作成 2023年3月1日

奈良教育大学には、その昔聯隊として機能していた時代がありました。聯隊とは軍隊の編制部隊の単位の1つであり、この地で訓練に勤しんだり、各戦地に飛び立ったりしていました。ここでは、現存する戦争遺構の一部を紹介します。

〈奈良聯隊建物配置概要図〉 ※裏面にある各戦争遺構の解説についても併せてご覧ください。



※⑦、⑧は奈良教育大学附属小学校の敷地内にある。

## 奈良教育大学

昔ここには軍隊がいた！！

# な ら れ ん た い 奈良聯隊

### ○奈良聯隊とは？

1909(明治 42)年に、陸軍歩兵 53 聯隊が新設され、現在の奈良教育大学の敷地に駐屯した。当時は徴兵検査に合格しても、大阪や京都の聯隊に入隊せねばならず、「奈良に聯隊を」の声が高まっていた。しかし、1925(大正 15)年には政府主体の軍備縮小計画に伴い、53 聯隊は廃止されるが、まもなく奈良県出身者が多く入隊していた陸軍歩兵 38 聯隊が京都から移駐し、日中戦争発生後は中国に進駐する。同聯隊は、南京事件にも関与した。戦争後は米軍の駐屯地として接收されるが、1958(昭和 33)年に奈良教育大学の前身にあたる奈良学芸大学が敷地をもらい受け、現在に至る。

なお、奈良教育大学の隣に位置する、自衛隊奈良地方協力本部の敷地内には、奈良聯隊跡記念碑が建てられ、当時の記録が記されている。



出典：毎日新聞(2014.08.20)

## 〈各戦争遺構の解説〉

### ①弾薬庫

弾薬庫の建物に使われていた鬼瓦は教育資料館に展示してある。弾薬庫はイギリス式のレンガの積み方になっている。現在は、新薬師寺旧境内の出土遺物簿収蔵庫として利用されている。



### ②周辺土堤

大学には他にも土堤は見られるが、とりわけ、南東部にあるこの土堤は「カラタチ」の木が多く残っている。カラタチの鋭いトゲは、聯隊内の出入りを阻止したり、射撃場の弾が外にはねたりしないように植えられていた。



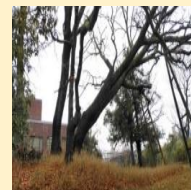
### ③営庭

当時、軍人はこの営庭を通り、聯隊内の宿舍まで帰っていた。庭に残っている複数の黒い岩は聯隊当時からあるものと推測されている。かつてここには、「飛翔神社」と名づけられた航空の安全を祈った神社があったため、一説にはその名残だと言われている。



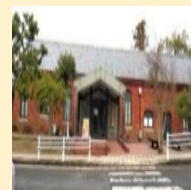
### ④吉備塚古墳

吉備真備の墓と伝えられている。明治時代以降官有地であったことから盗掘を受けずに不完全ながらも墳丘の形を留めている。クヌギの大木に覆われており、多くの軍人がここで自殺を図ったと言われている。



### ⑤糧秣倉庫(現:教育資料館)

現教育資料館は、1908 年(明治 41 年)に、陸軍聯隊の糧秣倉庫として建てられた。当時は軍人や馬用の食糧の貯蔵のために使われ、戦争後は資料置場などに流用された後、現在は駐屯地の標石などの遺物や出土品が展示されている。



### ⑥北門

北門は、主に商人等の生活資材搬入のための通用門であった。門の両端には、現在も当時の門柱が残っている。



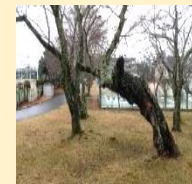
### ⑦泉水庭園

将校集会所には泉水庭園があった。日本庭園が造られ、現在でもくぼみに石が散乱している。この石は生駒山付近で産出される生駒石である。



### ⑧桜広場

ここ一帯には、桜が斜面に植えられている。聯隊時代の桜は多くが切り倒され、植え直された樹齢 50 年ほどのものが多い。しかし、苔が生えている推定樹齢 80 年くらいの古木もあり、当時の面影を伝えている。



### ⑨酒保への階段

酒保とは、日本軍の兵営内に設けられた売店を指す。酒類や甘味品などの飲食物や日用品を安価で販売した。奈良聯隊の場合、1階に酒保があり、2階に下士官集会所があったとされる。階段の北側にはレンガ造りの建造物跡があるが、これは水源から水を引くための土管があったと推定される。



### ⑩野仏集場

この野仏は、駐屯地になる前の田畑から集められたものと言われている。厳しい訓練に耐えかねて、幾人もの若い軍人が首を吊り、命を絶ったため、作られた地蔵が置かれている場所である。遺族が訪れて、敷地の隅に集積された野仏に手を合わせる姿が見られたと言われている。



～奈良教育大学戦争遺構保存会について～

この保存会は、大学構内に戦争遺構が数多く残っているのにも関わらず、それらが適切に活用されていないことに問題意識を持ち、周知や活用を促す組織です。学生10名ほどの小規模ではありますが、今回保存会発足の第一歩としてこのパンフレットを作成するに至りました。このパンフレットを一人でも多くの方が目にし、戦争遺構を知る一助となることを心より願っております。

保存会一同

※パンフレットについてのお問い合わせは以下までお願いします。  
連絡先: 奈良教育大学戦争遺構保存会  
アドレス: nue2022sensekihozonkai@gmail.com

